



News Release

平成 29 年 7 月 1 日

株式会社 C C J

代表取締役社長 塩冶憲司

平成 29 年 3 月期 C C J グループ決算概要

グループ 3 社とも主要 3 サービス (TV・インターネット・電話)
利用者数増加により、増収増益決算を達成

会社名：株式会社 C C J

代表者：代表取締役社長 塩冶憲司

本 社：三重県四日市市本町 8 番 2 号

資本金：20 億円

対象子会社：株式会社シー・ティー・ワイ (CTY)

三重県四日市市 代表取締役社長 渡部一貴 資本金 11 億円

株式会社エヌ・シー・ティ (NCT)

新潟県長岡市 代表取締役社長 今泉道雄 資本金 4 億円

株式会社ケーブルネット鈴鹿 (CNS)

三重県鈴鹿市 代表取締役社長 家田孝 資本金 10 億 5 千万円

【グループ決算状況】

	第 10 期 (平成 29 年 3 月期)	第 9 期 (平成 28 年 3 月期)	前期比 (%)
売 上 高 (百万円)	9, 7 8 8	9, 2 8 3	1 0 5. 4
営 業 利 益 (百万円)	1, 0 1 0	6 4 1	1 5 7. 4
経 常 利 益 (百万円)	1, 0 3 6	6 7 9	1 5 2. 5
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益 (百万円)	7 8 1	4 7 7	1 6 3. 9
当 社 1 株 当 配 当 額 (円)	1 2	1 2	

※ 上記数値は監査法人による監査証明を取得していません。

※ 上記数値は当社及び各子会社の損益計算書を基礎として作成しております。

※ 記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

グループ決算概要

平成 29 年 3 月期は、従来からの大手通信事業者との競争に加え、インターネットを介した動画配信サービスの普及や MVNO(格安スマホ事業者) の新規参入など、放送・通信の枠を超えたサービス提供が本格化し、大きな競争環境変化に直面する中、当社グループは、「生活・情報サービス『地域ナンバーワン』」をグループ・ビジョンに掲げながら、お客様満足度の更なる向上を図るための取り組みを積極的に進めてまいりました。

具体的には、ニュース番組や地域情報アプリなどを通じての地域情報受発信機能強化に努めるとともに、NTT グループの光アクセス回線卸を活用したインターネット接続サービスに加え、NTT ドコモ向けの自社光回線卸サービス（ドコモ光タイプ C）を開始するなど、お客様のニーズに対応した新たなサービスの提供に努めてまいりました。また、グループ経営強化を図り、さらなる経営統合効果を発揮すべく、回線の FTTH 化（宅内までの光化）推進や、事業の共同化・共通化による一層のコスト削減にも鋭意取り組みました。

これらの活動の結果、CTY・NCT・CNS の 3 社全てにおいて主要 3 サービスの利用者数および利用料収入が増加し、グループ全体の売上高は 9,788 百万円（前期比 105.4%）、営業利益 1,010 百万円（前期比 157.4%）、経常利益 1,036 百万円（前期比 152.5%）、親会社株主に帰属する当期純利益 781 百万円（前期比 163.9%）を計上し、前期同様 1 株 12 円の配当を実施致しました。

今期は、さらに FTTH 化（宅内までの光化）を推進するとともに、平成 30 年 12 月に予定される 4K テレビ放送への対応を進めてまいります。また、CTY・CNS で開始した電気・ガス事業との連携などを含め、グループ全体で一層の「お客様満足度向上」と「競争力強化」を図ってまいりたいと考えております。

<本件のお問い合わせ先>

三重県四日市市本町 8 番 2 号

株式会社 C C J

常務取締役 井伊 真

総務部 齋藤 雅輝

TEL 059-359-5060

FAX 059-359-5061